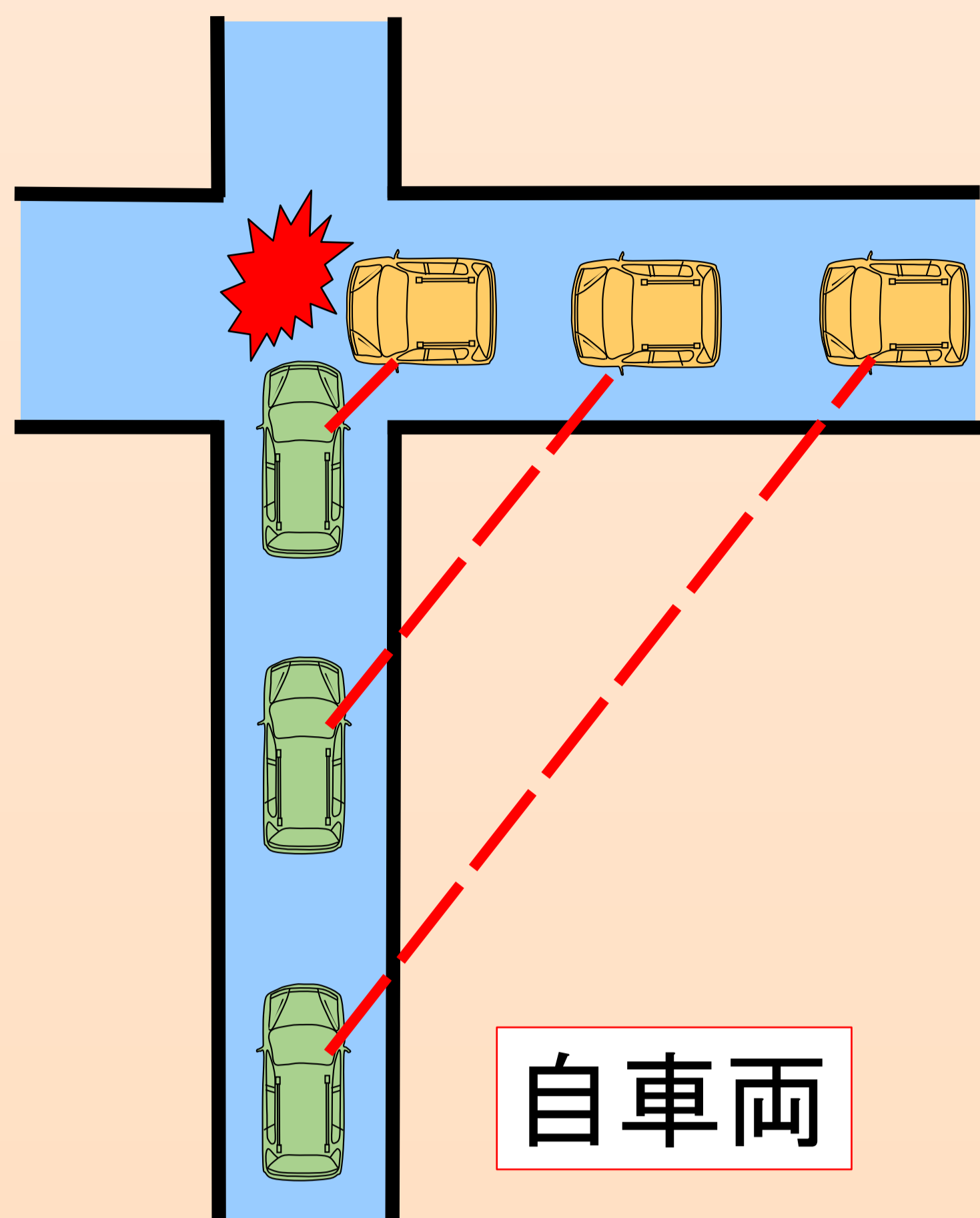


【論文名】車両検出用カスケード型識別器の作成

【著者名】尾友空良 豊田計時（一関高専）

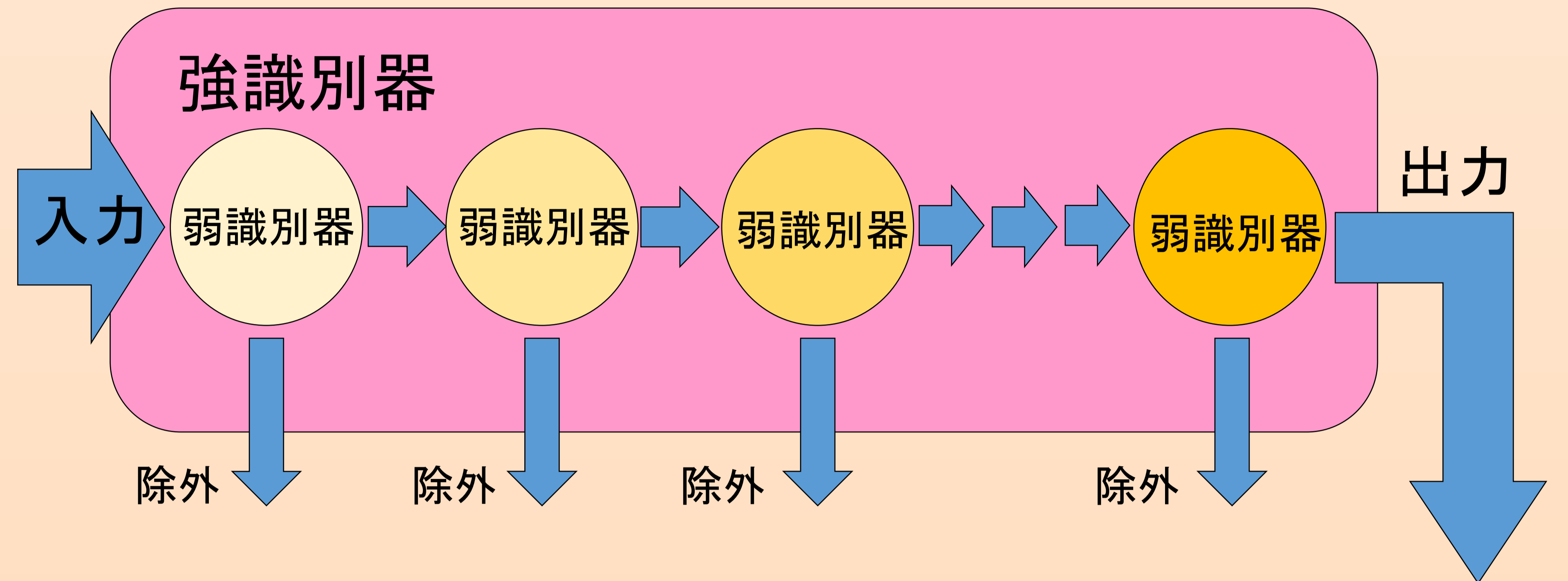
【田園型事故】



なす角が同じ値で接近する車両の発見が困難となるために発生すると考えられている

【カスケード型】

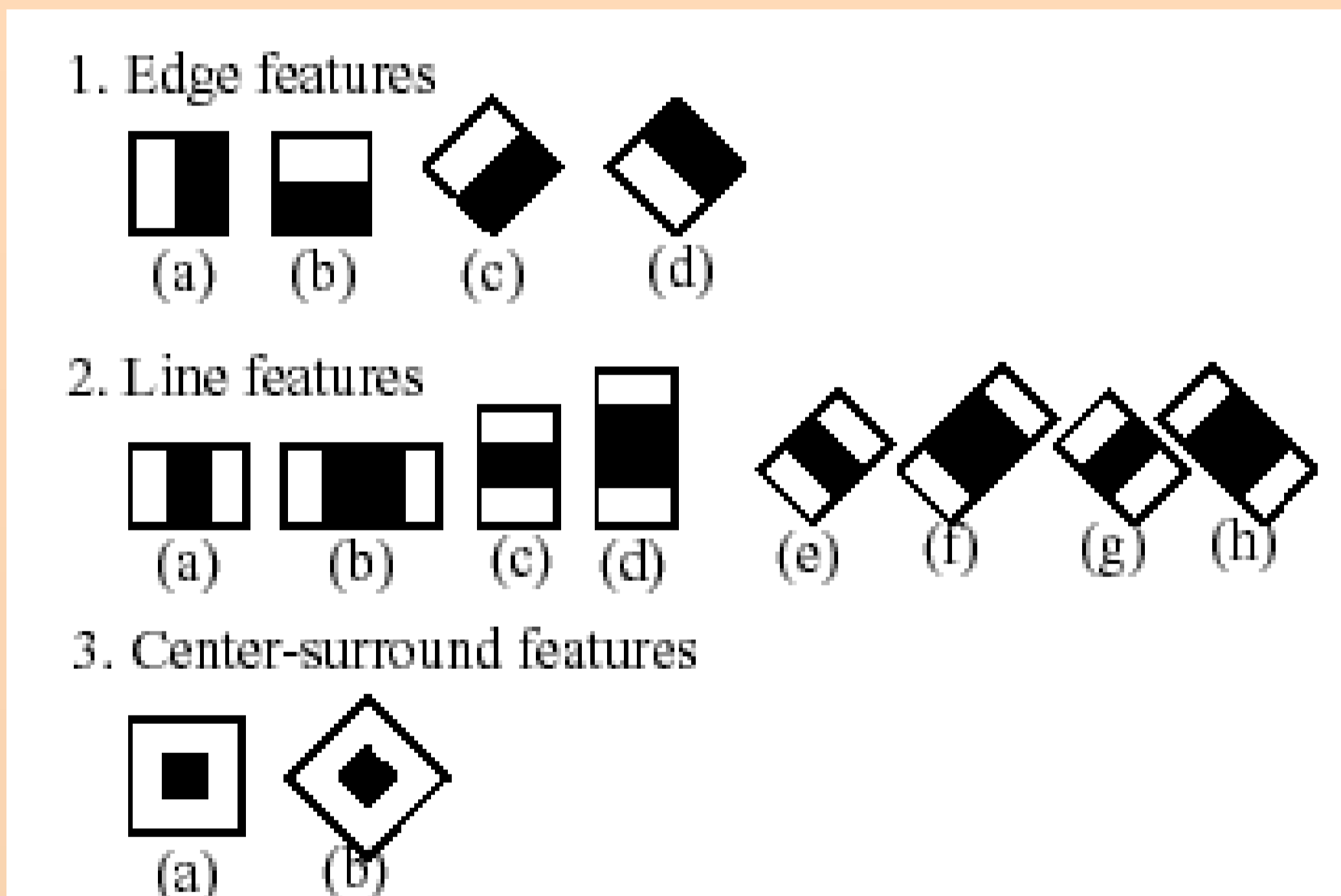
弱い識別器を複数段並べて全体として強い一つの識別器を構成したもの→カスケード



段を重ねるごとに厳しい判断基準となるよう調整されているため、効率よく高速で検出処理を行うことができる

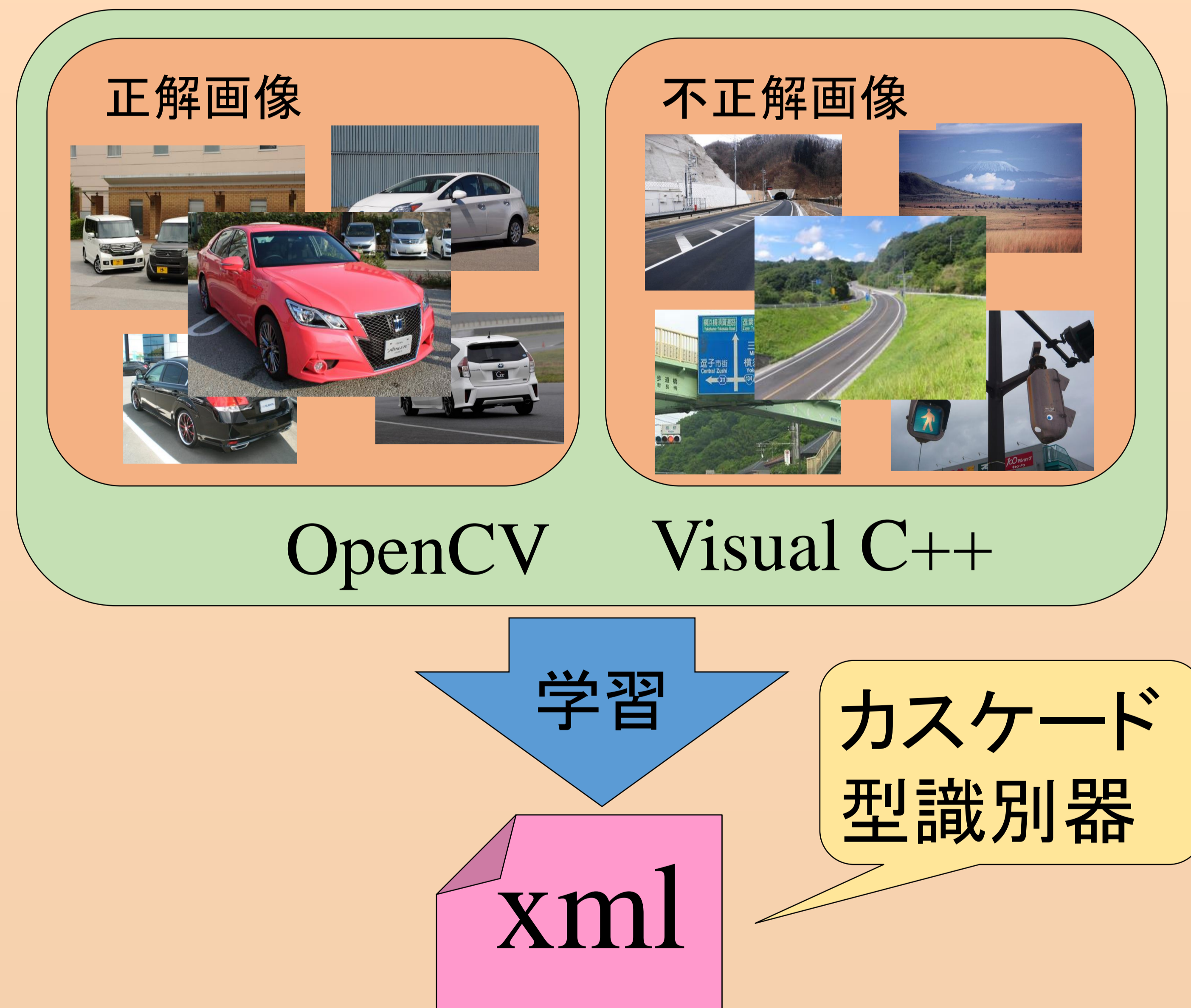


【Haar-like特徴】

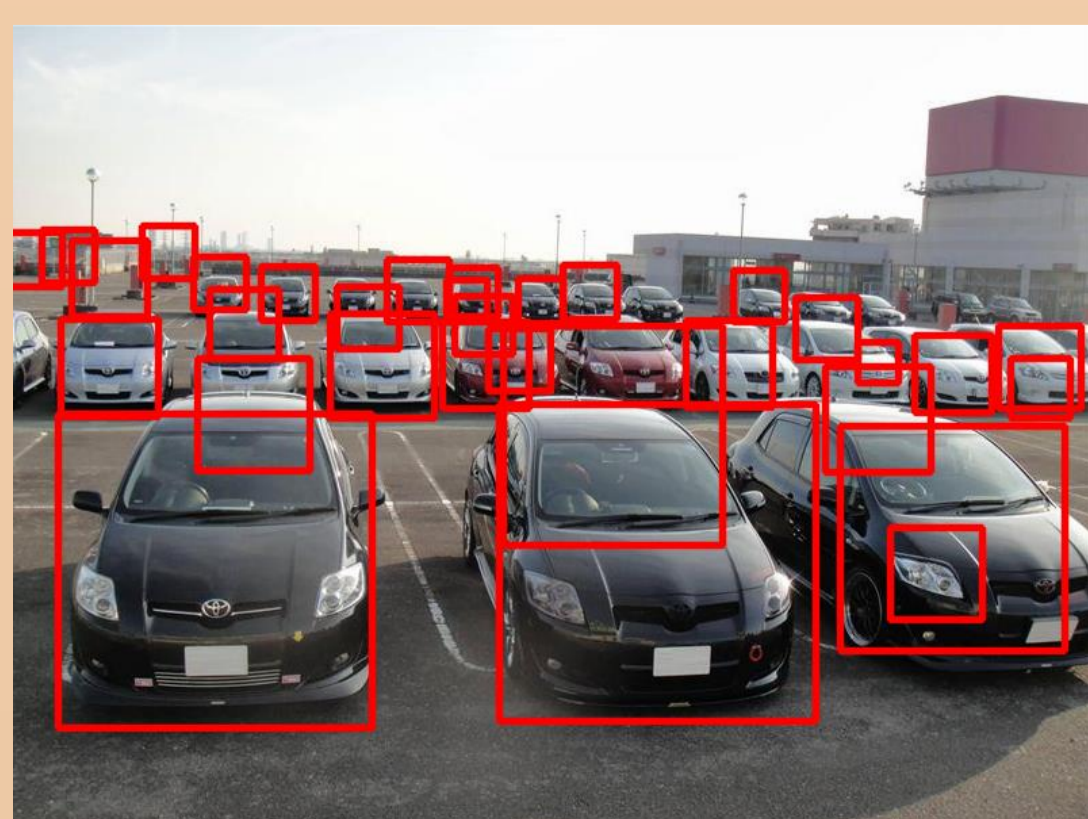


白い領域と黒い領域の二つの領域の明暗差に着目し、局所的なエッジ成分・線成分を算出する

【作成方法】



【検出結果】



赤枠内が検出車両
誤検出が多くみられる

【課題と今後の方針】

検出率の向上
誤検出の低減
学習時間の短縮
出力ファイルの軽量化

学習時の調整
検出プログラムの見直し
OpenCV3.1へバージョンアップ